

# 平成27年(2015年)8月の結果 (二人以上の世帯)

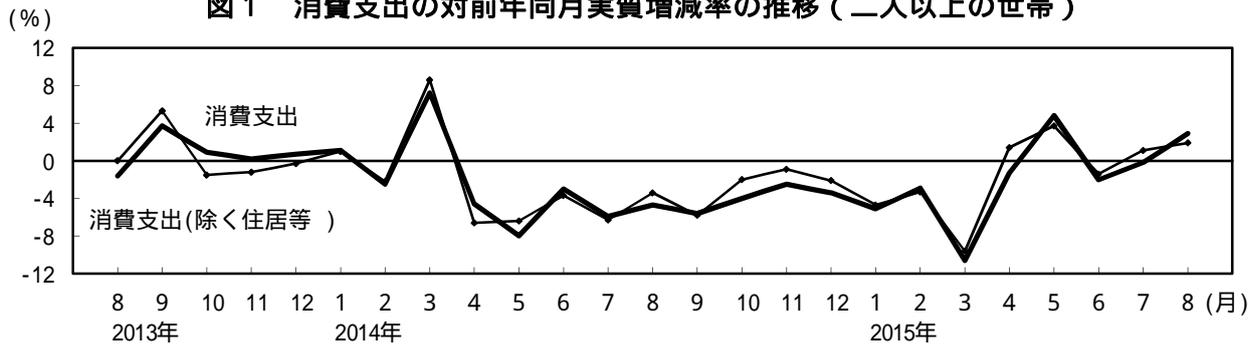
## 二人以上の世帯

・消費支出は、	1世帯当たり 291,156 円		
前年同月比	実質 2.9%の増加	前月比(季節調整値)	実質 2.5%の増加
	名目 3.2%の増加		
・消費支出(除く住居等)は、	1世帯当たり 253,056 円		
前年同月比	実質 1.9%の増加	前月比(季節調整値)	実質 1.5%の増加
	名目 2.2%の増加		
・勤労者世帯の実収入は、	1世帯当たり 475,369 円		
前年同月比	実質 2.2%の増加		
	名目 2.5%の増加		

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

## 1 消費支出の推移

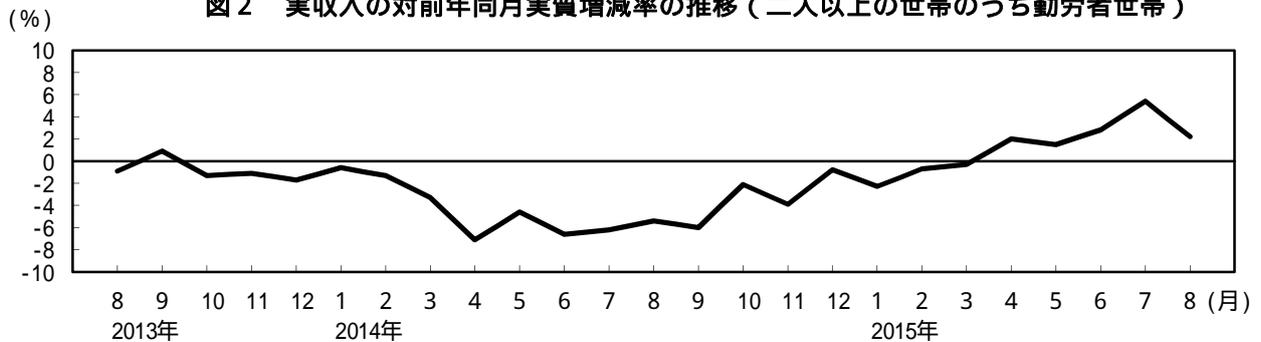
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2014年					2015年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
消費支出	-4.7	-5.6	-4.0	-2.5	-3.4	-5.1	-2.9	-10.6	-1.3	4.8	-2.0	-0.2	2.9
消費支出(除く住居等)	-3.4	-5.8	-2.0	-0.9	-2.1	-4.7	-3.3	-9.6	1.4	3.7	-1.4	1.1	1.9

## 2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2014年					2015年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
実収入	-5.4	-6.0	-2.1	-3.9	-0.8	-2.3	-0.7	-0.3	2.0	1.5	2.8	5.4	2.2
可処分所得	-5.2	-5.9	-2.4	-3.9	-0.3	-2.5	-0.5	-1.1	2.3	1.5	1.7	5.0	1.8
消費支出	-6.0	-7.3	-3.4	-1.2	-3.0	-4.3	-3.6	-11.0	0.5	7.5	-1.4	0.7	3.4
平均消費性向*	-0.6	-1.4	-0.8	2.4	-1.3	-1.6	-2.3	-10.7	-1.5	5.5	-1.6	-2.8	1.3

\*: 対前年同月ポイント差

### 3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2015年8月 - 二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	291,156	3.2	2.9	-		3か月ぶりの実質増加
食料	74,505	3.3	0.6	0.14	<増加> 調理食品, 飲料, 外食など	2か月連続の実質増加
住居	17,975	15.9	15.2	0.84	<増加> 設備修繕・維持, 家賃地代	3か月ぶりの実質増加
光熱・水道	20,419	0.5	6.8	0.49	<増加> 電気代, ガス代など	5か月連続の実質増加
家具・家事用品	11,768	9.4	7.7	0.29	<増加> 家庭用耐久財, 寝具類など	2か月連続の実質増加
被服及び履物	8,996	-3.3	-4.9	-0.16	<減少> 洋服, シャツ・セーター類など	2か月ぶりの実質減少
保健医療	11,958	-3.4	-4.2	-0.18	<減少> 保健医療サービス, 保健医療用品・器具	5か月ぶりの実質減少
交通・通信	40,869	5.7	8.6	1.19	<増加> 自動車等関係費, 通信	2か月連続の実質増加
教育	7,860	14.9	13.3	0.32	<増加> 授業料など	2か月ぶりの実質増加
教養娯楽	31,339	3.1	1.5	0.16	<増加> 教養娯楽サービスなど	2か月連続の実質増加
その他の消費支出	65,466	-0.5	(-0.8)	(-0.19)	<減少> こづかい, 諸雑費	3か月連続の実質減少
消費支出 (除く住居等)	253,056	2.2	1.9	-		2か月連続の実質増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

#### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

##### 中分類 品目

##### <増加項目>

##### 実質寄与度

自動車等関係費	[0.72]	.....	自動車購入, 自動車整備費
設備修繕・維持	[0.65]	.....	外壁・堀等工事費
通信	[0.52]	.....	移動電話通信料, 運送料
授業料等	[0.35]	.....	私立大学
教養娯楽サービス	[0.24]	.....	国内パック旅行費, ゴルフプレー料金
家庭用耐久財	[0.20]	.....	エアコンディショナ, 電気掃除機
家賃地代	[0.19]	.....	民営家賃, 公営家賃

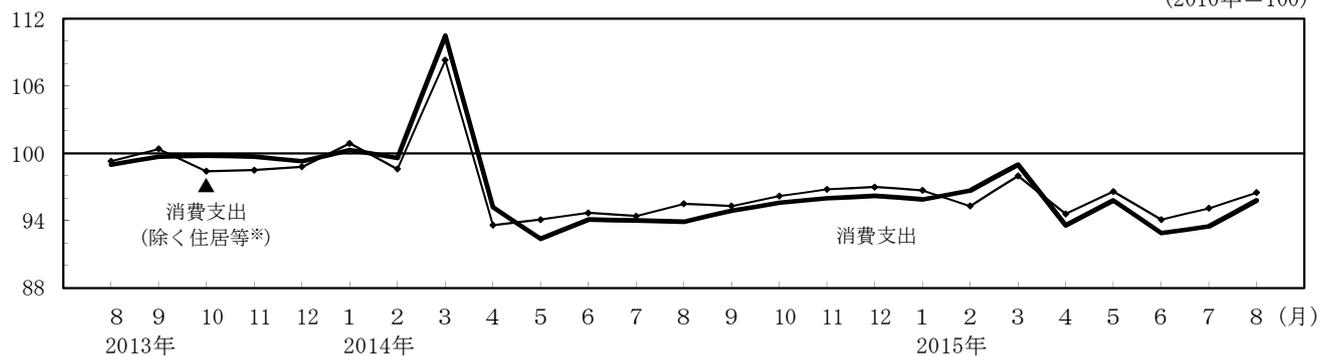
##### <減少項目>

諸雑費	[-0.18]	.....	葬儀関係費, 信仰・祭祀費
保健医療サービス	[-0.16]	.....	医科診療代

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）

(2010年=100)



	2014年					2015年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
消費支出	93.9	94.9	95.6	96.0	96.2	95.9	96.7	99.0	93.6	95.8	92.9	93.5	95.8
対前月変化率(%)	-0.1	1.1	0.7	0.4	0.2	-0.3	0.8	2.4	-5.5	2.4	-3.0	0.6	2.5
消費支出(除く住居等※)	95.5	95.3	96.2	96.8	97.0	96.7	95.3	98.0	94.6	96.6	94.1	95.1	96.5
対前月変化率(%)	1.2	-0.2	0.9	0.6	0.2	-0.3	-1.4	2.8	-3.5	2.1	-2.6	1.1	1.5

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

#### 4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2015年8月－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備考
		名目	実質		
実収入	475,369	2.5	2.2	—	5か月連続の実質増加
世帯主収入	357,945	-0.4	-0.7	-0.56	3か月ぶりの実質減少
定期収入	345,071	0.1	-0.2	-0.13	2か月ぶりの実質減少
配偶者の収入	61,542	15.0	14.7	1.69	5か月連続の実質増加
他の世帯員収入	6,928	-2.9	-3.2	-0.05	2か月連続の実質減少
非消費支出	84,017	4.3	—	—	8か月連続の増加
可処分所得	391,352	2.1	1.8	—	5か月連続の実質増加
消費支出	317,195	3.7	3.4	—	2か月連続の実質増加
平均消費性向(%)	81.1	(前年同月) (ポイント差) 79.8 1.3		—	季節調整値で見ると、74.3%で、前月に比べ、2.9ポイントの上昇となった。

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。